

病院の行事 (5・6月)

医療安全管理研修会を行いました。

5月28日(木)、6月19日(金)のそれぞれ午後5時30分から、職員対象の医療安全管理研修会を開催しました。



今回は公立羽咋病院の医療安全管理責任者である、山口羊一さんを講師に迎え転倒・転落について講義を受けました。

山口さんは実際に羽咋病院内で起こった事例を取り上げ、対策までの流れを説明してくださいました。

羽咋病院ではまずは情報収集を行い、次に要因の分析、できる対応の実施、さらに患者様と一緒に対応の実施と、対策を進めているそうです。

残念ながら、転倒・転落というのは劇的に減る事は無いそうですが、対策を講じる事により、

「転倒・転落による重大事故を無くせるかもしれない」
「転倒・転落のリスクを知る事で、発生数が減少する」
「環境を整える事で、患者様だけでなくスタッフにも良い環境になる」
というように成果は少なくとも確実に表れると最後に山口さんはおっしゃっていました。

参加者は、他の医療機関で働いている方の、現場で感じている生の声を聞く事ができ、貴重な体験になったようです。

最近の出来事 (5月)

「看護職と看護学生の合同就職情報交換会」に参加しました。

5月16日(土)、金沢市の県地場産業振興センターで行われた「看護職と看護学生の合同就職情報交換会」に参加してきました。

当院のブースに来てくれた学生の皆さんに、当院や看護科の概要、教育方針、修学資金等の説明を行いました。



病院の行事 (5月)

「ふれあい看護体験」を行いました。

毎年5月12日はフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで「看護の日」とされています。そして12日を含む1週間を「看護週間」と言います。

当院では20日にふれあい看護体験が行われました。



今回体験を行ったのは能登高校、飯田高校の生徒8名です。生徒達は施設見学や看護職についての説明を受けた後、看護師の指導の下、患者様に声を掛けながら足浴や洗髪などを行いました。



また、1階ロビーでは「看護フェア施設イベント～癒しの空間～」と題し、来院された皆様にひと時の安らぎが提供できるよう、家庭でも活用できる健康法の他、子供達やペットの写真を貼り出しました。

最近の出来事 (7月)

「高齢者夜光反射シール貼付キャンペーン」

7月30日(木)、当院の正面玄関で、高齢者の交通事故抑止対策として、能登町交通安全協会会員らが、反射シールの配付、貼付を行いました。



理念 「笑顔で心のこもった良質な医療サービスの提供」

基本方針

- ・地域住民の人々に信頼される病院を目指します
- ・よりよい接遇と思いやりのある病院を目指します
- ・質の高い医療を提供できる病院を目指します

病院の行事（6月）

院内防災訓練を行いました。

6月23日（火）、院内防災訓練が能登半島沖で大規模地震が発生したとの想定で行われ、職員約80名が参加しました。



職員は病棟から入院患者の担架での搬送、消火器の取り扱い体験、重要書類の持ち出しなどを行いました。



5階病棟では夜間に災害が発生した事を想定しての訓練も行われ、限られたスタッフによる役割を確認しました。



訓練後、中間能登消防署長から講評があり、「私は署員に常々、訓練の際に話している事があるのですが、それは、安全管理を怠るな、大きな声で指示を出せ、そして決して笑うなという事です。みなさんにおかれてはそれが出来ていたようです。」と述べました。

病院の行事（7月）

院内感染予防対策研修会を行いました。

7月29日（火）、30日（水）のそれぞれ午後5時30分から、職員対象の院内感染予防対策研修会を開催しました。今回の研修会は、環境清拭や个人防护具の着脱をテーマとし、医療や看護用品の製造会社の方をお迎えして行われました。



環境消毒の基本的な考え方として

- ①病室の壁や床などを消毒する必要はない。
 - ②人の手が頻繁に直接触れる部分については、1日1回以上清拭するのが望ましい。
 - ③湿性生体物質で汚染された部分は、それらを取り除き、その後消毒する。
- という説明がありました。

また、職員による防護具の着脱が実際に行われ、より実践的な研修になったようです。

病院の行事（7月）

職場体験が行われました。

7月27日から30日にかけて小木、能都中学校の生徒たちが「わく・ワーク職場体験」を行い、飯田高校の生徒はインターンシップを行いました。インターンシップとは、研修生として就業体験を行う事です。



生徒たちは看護の仕事や、施設の説明を受けた後、看護師の指導を仰ぎながら、脈拍や血圧の測定を行ったり、患者さんの足浴や洗髪を手伝うなど、実際に看護師が行う業務を体験しました。どの生徒たちも患者さんに優しい笑顔で接しており、医療の現場における心構えをしっかりと持ちながら体験に臨んでくれていたようでした。

石川県病院協会 優秀研究賞を受賞しました!!

当院の吉井絹枝主任看護師がこの度、「平成26年度石川県病院協会 優秀研究賞」を受賞しました。研究テーマは「住民と共有する地域医療を目指すための要望調査～出前講座を利用したグループインタビュー～」です。



平成25年度に住民の方を対象に行った出前講座でかかりつけ医などについてお話をした際、地域医療に関するアンケートを取らせていただきました。そのデータを基に今回の研究が行われました。

吉井看護師は「協力していただいた住民の皆様のおかげで、このような賞をいただきました。ありがとうございました。これからはこの研究を活かしながら、日々の業務に精進していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。」と話しています。